



商工会報

ひらいづみ

光山書

平泉商工会報

●平成19年8月1日

No. 86

[平泉商工会ホームページ]

<http://www.shokokai.com/hiraizumi/>



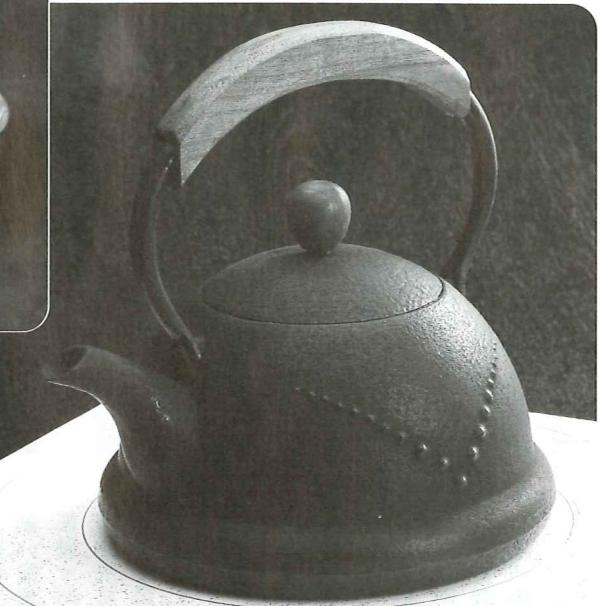
▲
(有)翁知屋

古代秀衡椀（三ツ椀）

工房和秋

鉄瓶（気づかい）

おらえの仕事



イベント情報

商工会行事予定

9月

- 10日(月) スタンプ会招待旅行
- 16日(日) 第146回珠算検定試験

11月

- 18日(日) 第147回珠算検定試験

8月

- 14日(火) 中尊寺薪能（能楽殿）
- 16日(木) 大文字まつり

9月

- 15日(土)～30日(日)
毛越寺萩まつり

10月

- 21日(日) めんこいウォーク in 平泉
- 20日(土)～11月15日(木)
中尊寺菊まつり

地域活性化事業



平成二十年に平泉が世界文化遺産に登録されると、多くの観光客が予想されます。しかし、観光客対象のアンケート調査結果によりますと、「平泉町にあれば良いと思われる物は」との質問に対しまして、ソフト面では「土産品」と回答した方が一番多い状況となっております。

こうしたことから、当会といたしましては、平泉町独自の土産品を開発し、今後、増加するであろう観光客のニーズに対応することにより、平泉の商業振興に資することを目的といたしまして、平成十九年度に土産品開発を実施いたします。

土産品は食品と工芸品でそれ

ぞ、各一品以上の開発を目標

とするため、十九名の平泉町土

産品開発委員会と菓子・工芸品・

漬物の各専門部会を設置いたし

ました。六月に菓子土産

品の第一回試作が終了

し、委員による試食会を開催したところであります。

今後は、各専門部会

で製造した試作品を試食

会等で絞り平泉町として

すばらしい土産品を作り

上げていきたいと考えて

おります。

また、当会では「淨土

の風・平泉」の団体商標

登録を七月六日付で特許

庁に出願いたしました。

商標登録後は統一したデ

ザインで土産品の包装等

に使用したいと考えてお

ります。

本町では、美しいまちづくりに取り組んでおりますが、平泉

にふさわしいモデル的な商業施

設（建築・看板等）が明確化さ

れてない状況にあります。

そこで、本年度、商工会では、

「平泉らしい町並みづくり」に

貢献するため、「あきない」

景観コンテスト」を通じた商業

施設景観調査事業に取り組むこ

とをいたしました。

事業は、国の平成十九年度全

国都市再生モデル調査として支

援していただき、役場から協力

を得て実施いたします。

具体的には、「あきない」景

観コンテスト」を実施します。

コンテストのテーマは「何度見

ても飽きない商業施設」を予定

しています。コンテスト実施に

あたっては、審査基準が必要と

なりますので、専門家を交えて

商業者が中心となつて議論して

いただき、取りまとめます。

こうした事業活動により、今

まで曖昧だった平泉にふさわし

い商業施設が明確化されます。

また、この結果を町の景観計画

に反映できるものがあれば、計

画への追記についてお願ひして

行きます。

商業施設景観調査事業

九月にかけて実施計画を精査しにふさわしいモデル的な商業施設（建築・看板等）が明確化されてない状況にあります。

そこで、本年度、商工会では、「平泉らしい町並みづくり」に貢献するため、「あきない」景観コンテスト」を通じた商業施設景観調査事業に取り組むことといたしました。

事業は、国の平成十九年度全

国都市再生モデル調査として支

援していただき、役場から協力

を得て実施いたします。

具体的には、「あきない」景

観コンテスト」を実施します。

コンテストのテーマは「何度見

ても飽きない商業施設」を予定

しています。コンテスト実施に

あたっては、審査基準が必要と

なりますので、専門家を交えて

商業者が中心となつて議論して

いただき、取りまとめます。

こうした事業活動により、今

まで曖昧だった平泉にふさわし

い商業施設が明確化されます。

また、この結果を町の景観計画

に反映できるものがあれば、計

画への追記についてお願ひして

行きます。

会員の皆様方のご協力、ご支

援をよろしくお願ひいたします。

会員の皆様方のご協力、ご支

援をよろしくお願ひいたします

【消費者と明るくむすぶおらが地元商店】

商業部会視察研修

七月八日（日）総勢十三名にて、研修先、雪石「軽トラック市」を視察してまいりました。町役場より徒歩五分の場所にある商店街を歩行者天国にし、軽トラック

午後は県立美術館を訪れ、「ピカソ展」を見学して参りました。噂通り、私達凡人にはその価値を理解することは出来ず、人の流れに流されて参りましたが、

改めて施設

の集客の力

を感じ、や

はり国立博

物館の誘致

を東北平泉

に考えてみ

てはと思わ

されました。

いずれ、

何ごとも町

民皆様の底

力が必要に

なることと

思います。

私達商工

業者も皆様

の御意見を

聞きながら、

皆様が満足できる商品を揃えら

れるよう頑張って参ります。

中には子

犬を売る方

など、市を

盛上げてお

りました。

視察後、忙しい中実行委員長さん自ら苦労話や意気込みを聞いて参りました。

当視察団の質問にも丁寧にお答えいただき、とても有意義な視察でした。



（部会長 千葉邦彦）

（駐車場業）
平泉字衣関七六

○坂の上駐車場
破石 澄元

○さくら
小山 哲子
(飲食業)
平泉字泉屋七三・二

○吉家建設
吉家 正行
(内装業)
平泉字志羅山一五三・一

○すずき装飾
鈴木 英則
(内装業)
平泉字高田前一二二一二

○北東北福山通運株岩手平泉営業所
今野 広行
(貨物自動車運送業)
平泉字宿四一七

○佐藤翼、早坂萌佳
七級

（飲食店）
平泉字志羅山一三五・五

○館 関 良彦

新しく入会された事業所の皆様を紹介いたします。

なかま（会員紹介）

◎商工会珠算検定合格者

第一四四回（二月十八日実施）

第一回（四月二日実施）

第二回（四月二日実施）

第三回（四月二日実施）

第四回（四月二日実施）

第五回（四月二日実施）

第六回（四月二日実施）

第七回（四月二日実施）

第八回（四月二日実施）

第九回（四月二日実施）

第十回（四月二日実施）

第十一回（四月二日実施）

第十二回（四月二日実施）

第十三回（四月二日実施）

第十四回（四月二日実施）

第十五回（四月二日実施）

第十六回（四月二日実施）

第十七回（四月二日実施）

第十八回（四月二日実施）

第十九回（四月二日実施）

第二十回（四月二日実施）

第二十五回（四月二日実施）

青年部連合会、女性部連合会
40周年記念式典
第46回通常総会
岩手県商工会連合会通常総会
（社）平泉観光協会総会
土産品開発検討委員会
部会
一関商工会議所創立60周年記念式典
毛越寺大路商店街（協）総会
一関地区青色申告会定期総会

【となりの町より、となりのお店】

新規員体制で活動

四月に行われた第四十回商工会青年部通常総会にて任期満了に伴う役員の改選が行われ新体制で活動を行つております。

部長 小松代篤
副部長 千葉哲也・千葉直樹
常任委員 千葉茂樹・内沢光伸・
石神正和・千葉之和・熊谷秀
樹・鈴木繁夫・小室貴也・卓
地研一・阿部茂幸・佐々木優
弥・朝田豪・鈴木宏介
監査委員 高橋拓生・千葉泰行



450食のおにぎり作り

ので、是非青年部へのご加入をよろしくお願ひいたします。

新規員体制で活動

工房和秋（高田二二二一四）

お陰様で平泉にて
工房を構えて25年…

水かけ神輿協賛
商工会夜市に出店して

今年で十二回目になる、水かけ神輿が小雨交じりの中七月十四日、十五日開催され、それに伴い商工会夜市も観自在王院跡公園内で開催されました。女性部は初日出店し、焼きおにぎり、焼きそば、すいとんを提供し、七月にしては肌寒い日ということもあり、暖かいメニューは好評で完売することができました。

翌日は担ぎ手、関係者の昼食のにおいぎりを依頼され四五〇食を提供することことができ、舞台裏で役員問わず、部員と協力し合いお役に立つことができました。

なお、部員数の減少により、部員増強運動を展開しております。部員資格は商工会の会員で商工業を営む方またはその親族、従事者で、年齢満十八歳以上十四歳以下の男子となつております。

ですが、部員資格に該当しない方でも趣旨に賛同いただける方であれば賛助部員として入部できます。

研修会や部員親睦事業等各種事業を行つており、町内はもとより県内青年部員等との交流の機会も生れます。各事業を通じ部員相互のコミュニケーションを深め、地域青年団体としての強い團結を目指してまいります。

など鉄分補給に最適とされ、湯もまろやかになり、おいしいお茶をいただけます。鉄瓶というとサビルと思われるがちですが、使い方次第。湯を使い切つたら、蓋を取つて中を余熱で乾かすこと。もちろんサビのお直しもあります。

鉄瓶（気づかい）当工房のおすすめです。毎日使っていただきたくて、素手でさわっても熱くならないよう、取手とつまみに木を使用しました。鉄瓶は、貧血予防

対応しますので、鉄瓶を生活の中に取り入れ、健康な毎日を…

表紙の声

(有)翁知屋（衣関一一七）

みなさんこんにちは。伝統工芸秀衡塗を製造販売しております。翁知屋の店主、佐々木優弥です。祖父の故・佐々木誠が、旧衣川村増沢地区より平泉町の衣関へ移転しまして、五十年以上経ちました。

これも様々な機会にお買い求め頂いている地元の皆さまと、観光のお客様のおかげと思い、この場を借りて感謝申し上げます。

さて現在、通常の漆器製造の他に、県内の漆職人の有志の人たちで、古代秀衡椀を再生させる事業をしております。翁知屋からは、私と伝統工芸士の菅原民生が参加しています。このお椀は、日本一の岩手県淨法寺漆を使い、木地も

商工会報クイズの答い発表
商工会報クイズの答い発表

平成十九年一月一日発行の商工会報クイズの答えは、「五四」が正解でした。抽選の結果五名様に平泉町共通商品券千円を贈らせていただきました。

今年度、商工会では商業施設景観調査事業でコンテストを実施する予定ですが何というコンテストでしょうか。

官製はがきにクイズの答え、

住所、氏名、電話番号、商工会意見、要望をお書きの上、商工会宛お送りください。締切り八月三十一日（厳守）抽選の上、五名様に平泉町共通商品券千円を差し上げます。

発表は次回の広報。

編集後記

(A・K)